

平和への願い

回天神社のその後と大神回天会の歩み

厳しい訓練の日々を積み重ねてきた隊員たちは太平洋戦争終結後、その任務を解かれ、それぞれの帰郷へと帰路につきました。隊員の精神的支柱であった豊後本内町の「回天神社」は、残存施設で残った隊員たちによって住吉神社境内に建てられた。タンザンの社殿に遷された。神社内に住吉神社境内に建てられた。タンザンの社殿に遷された。神社内に住吉神社境内に建てられた。タンザンの社殿に遷された。



本陣跡にあった神社殿

ました。これを契機に同年4月24日大神回天会が発足し、3年毎に総会並びに大祭を開催することが決められたのです。その後、大神回天会は昭和56年に回天神社社殿内に3分の1大の回天模型、平成14年に回天の母体である93式魚雷艇を奉納しました。また回天作戦に献じた1073名に戦没者の霊を祀したことで、回天神社は全国の回天関係者の心の安えとなりました。



3年毎に開催される例大祭

大神回天会発足の経緯には、かつて隊員たちの心を支えた回天神社があったからです。復興後、各々の道を歩む隊員の心を、再び強く結びつけました。大神回天会は地元大神の人々とともに回天神社を祀り、そして回天の歴史を守り伝えていきます。

歴史に平和を学ぶ

かつて日本が国の存亡を賭け激しい戦火の中にあつた時代から半世紀以上の時が流れ、国民の多くは戦争を知りません。戦火を生きた者、その遺族、白々を語り継いできた人々は少なく、戦争が偲ばれるたらしめた記憶の対は、大地に深く刻まれた戦火の爪痕、戦争道徳へ受け継がれようとしています。

私たちの暮らしは、過去の戦争によって犠牲となつた多くの人々の歴史の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。再び戦争を繰り返すことのない、平和な



現在のふたやかな海江潮

【平和の実現に向けて】

- ①生まれ育つたまち、住み慣れたまちに暮らす一人一人が、その地に刻まれた戦争の歴史を受け継ぐこと。
- ②戦争の歴史とともに、戦争の犠牲となつた人々、そして戦争を生きてきた人々の思いや願いを受け継ぐこと。
- ③戦争はなぜ起き、繰り返されるのか、そして戦争は私たちに何をもたらすのか、その歴史と真実にしっかりと目を向けること。

回天神社/人間魚雷「回天」大神基地跡案内図



お問い合わせ

日出町商工観光課 TEL0977-73-3158
FAX0977-73-2833
日出町観光協会 TEL0977-72-4255

交通のご案内

■日出インターより車で……15分 ■JR日出駅より車で……10分
■JR別府駅より車で……30分 ■大分駅より車で……30分
■JR杵築駅より車で……20分

○発行元/大分県日出町 ○企画・編集/特定非営利活動法人 風まちなち屋
○協力/大神回天会 平成20年1208日 9日発行

参考文献：人間魚雷回天特別攻撃隊 写真集(全国回天会編) 青春の歌(大神回天会) おおいた戦争道徳(大分県文化財保存協議会) 人間魚雷回天(発行 ザメディアジョン)

平和を願う 日出町遺産

人間魚雷

「回天」大神基地

日本が窮地に立たされた太平洋戦争末期
世界に誇る魚雷技術を駆使し誕生した特攻兵器回天
國を想い 家族を想い 隊員たちは
回天作戦に命を懸けるべく厳しい訓練を重ねた